

記入日：令和 8 年 1 月 30 日

令和 8 年度

特別養護老人ホーム
 ショートステイ

ショートステイ翠風
 グループホーム悠々

こはくユニット 運営計画書

施設長	副施設長	主任	作成者

～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～

中期経営計画目標(2026.4-2031.3)：“人材”と“技術”が未来を創る ～高付加価値ケアと永続的な信頼の確立～

法人事業計画目標：「一つひとつの『できた!』を大切に、最高のチームを目指す」

ユニット運営計画目標：「安心」と「快適」の提供

行 動 計 画 表

(期間：令和 8 年 4 月 1 日 ～令和 9 年 3 月 31 日)

区分	項目番号	ねらい	手順	具体的行動計画(実践をするため何をするか)				実施結果と今後の展望
				誰が	誰に対して	どのように	いつまでに	
1. 個別ケアの基本について	⑤法人理念や施設の方針は、わかりやすいもので職員に徹底している	「地域に信頼されるべき存在」とはどのようなことなのか？ 1. 利用者様に対して：「生活の延長」であること 2. ご家族に対して：「安心感」 3. ケアマネジャーに対して：「困ったときに頼りになる」存在であること 4. 地域社会に対して：「開かれた」資源であること	確認	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー	私たちは日本で最も必要とされている介護のプロであることを自認し自信と責任を持って業務を遂行する。	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	事業所として4点を定める 始業前に職員各々が確認し仕事に入ること 困った時には「理念」に立ち返ること

3. 入居者にそれぞれ暮らしを続けてもらうために	①～⑦ 「24時間シートの内容の充実」	自宅での生活リズム（起床時間、食事の好み、入浴習慣など）を可能な限り尊重し、施設都合のスケジュールを押し付けないこと	実施評価	ユニットリーダー ケアワーカー	ご利用者	利用中の何気ない会話やご利用者の希望をその場で介護ワフトに加筆する ※職員で共有するために ①オープンチャットの活用 ②NAS内の連絡ツールの活用 ※②については、毎日出勤時に確認する	令和9年3月31日	どの職員が対応してもご利用者の生活リズム・楽しみが守られる柔軟な受け入れと質の高いケア（断らない・ADL維持）
2入居者が自分の住まいと思えるために		・ 心理的安全性の確保 「知らない場所に連れて来られた」という不安を、「馴染みのスタッフが安心できる場所」に変える ・ 自立支援の視点 残存機能を活かしたレクリエーションや生活リハビリを提供し、帰宅時にADL（日常生活動作）が低下していない	実施評価	ユニットリーダー ケアワーカー	ご利用者	①接遇マナーの徹底 ※職員同士で接遇について指摘できる雰囲気を作ることも大事 ②各種プリントの提供 ③音楽会・慰問への参加 ④利用者との時間を楽しむ ⑤自己のコミュニケーション能力を高める	令和9年3月31日	柔軟な受け入れと質の高いケア（断らない・ADL維持）
その他①		・ 「気づき」のフィードバック：プロの視点からの観察記録を伝える		ユニットリーダー ケアワーカー	ご利用者 ご家族 担当ケアマネジャー	利用中の様子、身体状況の変化、服薬の状況などをケアマネジャーへ迅速かつ正確に報告・共有する	令和9年3月31日	「あそこなら安心」という評判（地域でのブランド化） 丁寧なフィードバック（家族・ケアマネジャーへの報告）
その他②		施設内の様子や活動をホームページで発信し、「どんなことをしているか分からない」ではなく「顔の見える事業所」になる		ユニットリーダー ケアワーカー	地域	施設内の様子や活動をホームページで発信。「どんなことをしているか分からない」ではなく「顔の見える事業所」になる ・ 8本/月	令和9年3月31日	スタッフの誇りとやりがい（プロとしての成長）